
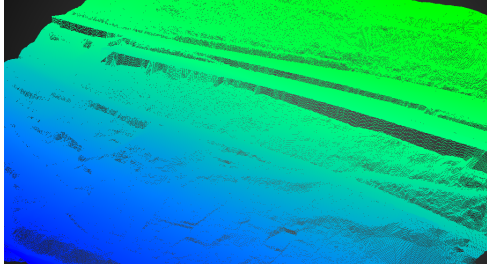

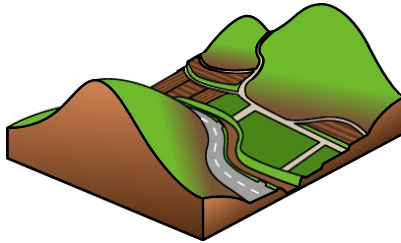
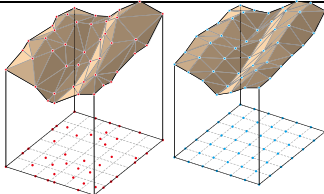
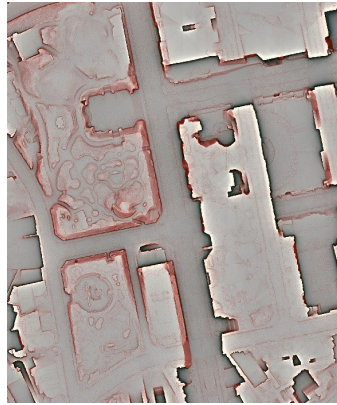


(別紙)オープンデータとして公開するデータ

	種類 ※画像提供:朝日航洋株式会社	データ形式	
1	<p>オリジナルデータ(DSM)及びグラウンドデータ(DEM)                      :建物・樹木などの地物の高さを含む地表面データ(DSM)                      建物・樹木などの地物の高さを含まない地表面データ(DEM)</p> <p>【DSM】  </p> <p>【DEM】  </p> <p></p> <p></p>	Las	
2	<p>航空レーザ用数値写真データ(オルソ画像)                      :写真画像に三次元計測データ等を加え正射変換を行った画像データ</p>	GEOTIFF	
3	<p>★ グリッドデータ DEM (0.25m)                      :グラウンドデータを基に作成した 0.25m 格子状の標高データ</p>		GEOTIFF
4	<p>グリッドデータ DEM (0.5m)                      :グラウンドデータを基に作成した 0.5m 格子状の標高データ</p>	<p>※ランダムな点群を格子状に整列したグリッドデータにすることで解析等が容易に</p>	GEOTIFF
5	<p>等高線データ                      :グリッドデータから自動生成により作成した 1m 間隔の等高線データ</p>	Dxf	
6	<p>★ 微地形表現図(赤色立体地図) (0.25m)                      :グラウンドデータの地形特徴を直感的に理解しやすい形で表現した 0.25m メッシュの画像データ。                      特徴としてダイナミックな地形表現が可能</p>		GEOTIFF
7	<p>微地形表現図(赤色立体地図) (0.5m)                      :グラウンドデータの地形特徴を直感的に理解しやすい形で表現した 0.5m メッシュの画像データ。                      特徴としてダイナミックな地形表現が可能</p>	GEOTIFF	

★:公表データとしては国内最高精度

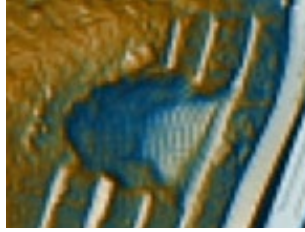
**参考: 精度向上による活用シーンの増加**

データ精度が上がると情報量が多くなるので、解析が精緻になり活用の幅が広がります。例えば、従来、人が立ち入るには危険が伴った場所の点検なども、机上でできるようになるなど、安全面や効率化などにも寄与する可能性があります。※画像提供: 朝日航洋株式会社

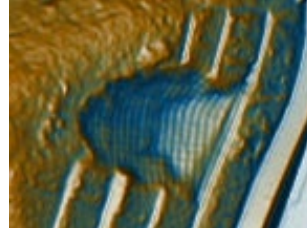
航空写真地図



グリッド: 1m



グリッド: 0.5m



グリッド: 0.25m

